

丹波篠山市立今田中学校 生活に関する学力向上プラン

(第2学年)

丹波篠山市学力・学習状況調査（以下「市調査」）及び全国学力・学習状況調査（以下「全国調査」）は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。

本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、結果をもとに授業改善等を行うため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しました。学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習や生活習慣の改善、学校の教育活動に対してご支援いただければありがたいと思います。

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要

○国語科：全国平均を上回り、たいへん良好な状況です。特に「漢字の読み」「歴史的仮名遣いの読み」に関してはほぼ100%の正答率でした。昨年度全国平均を9P下回った「文章を書く」の項目は、今年度8P以上上回る結果となりました。結果としては素晴らしいのですが、「主体的に取り組む」ことに対しては、あまり高い数値ではありませんでした。

○数学科：すべての領域において、全国平均・市平均ともに上回っていました。特に「数と式」や「関数」の領域では全国平均を10P以上上回っており、たいへん良好だと言えます。「基礎」の学力について前年度の校内平均より8P上回っており、学力の伸びが見られました。

○生活状況調査：学習習慣、規範意識、発信力についてはほぼ平均値です。対話・話し合い、クラスの絆、先生の支えという項目は平均値より大きく上回っていました。活発に話し合いながら授業や行事に取り組んでいることがわかります。しかし、学習意欲、充実感と向上心、友達の支えという項目は平均値よりかなり低いという課題が見られました。クラスの中で、「団結力や助け合う力があると感じている」割合が高い一方で、「仲間はずれにされるのではないか」「友達に本音で話すと嫌われるのではないか」などの不安を抱えているということが読み取れました。

課題および今後の学力・生活習慣向上方策

○国語科：基礎・活用共に昨年度より大きく伸びていますので、このまま基礎学力の反復と、文章を書くことに積極的に取り組み、学力を定着させたいと思います。さらに、聴覚的に聞き取った内容を自分の言葉で伝える活動や、学んだことを将来的に生かせるような活動を通して、国語学習に興味を持ち主体的に取り組めるような工夫をしていきます。

○数学科：計算分野では基礎的な学力がついているので、今後も繰り返し練習を重ねて力を伸ばしていきたいと考えます。「データの分布の傾向について考える問題」に課題があり、資料から読み取り説明することが苦手であるため、グループでの学習活動を行い、説明し合う機会を増やしていきたいと思います。

○生活状況調査：クラスの中で、安心して学べる環境づくりが、友達の支えや充実感の向上心を高めることにつながると考えています。今後も一人ひとりを認め合う活動を続けていき、仲間の中で自分は支えられていると感じさせたいと思います。また、行事や学習の中で「自立」をキーワードにして、生徒主体で活動できるような取り組みを進めていきます。

中学2年生は、自分の生き方や友人関係において悩むことも多くあると思いますので、学校と家庭でしっかり連携しながら、安心して相談できる環境づくり・関係づくりに努めていきたいと思います。

保護者の皆様へ お知らせとお願い

本校では、今回の調査結果を生かして、お子様一人一人についての学習のあり方や生活習慣について、指導・支援方法を検証し、取り組みを充実していきます。2年生後半からは、キャリア教育の一環として、進路学習が始まります。ご家庭におかれましても、進路や将来に関して話をする機会を持っていただき、学校と連携しながら、子どもを支えていきますよう、ご協力をお願いいたします。